

下水管の長さ
439Km



県庁所在地であるさいたま市からおよそ兵庫県神戸市までの距離です。日本中の下水管の長さを合計すると月にも到達できるといわれています。

中継ポンプ場
22箇所



下水が水循環センターまで流れるよう、途中でくみ上げる施設を中継ポンプ場といいます。大きいものでは、直径約1.7mのポンプで下水をくみ上げています。

県職員数
121人



県職員のほか、下水道公社、包括的民間委託業者、関連事業者など、多くの人たちによって下水道サービスが支えられています。

1日に処理している下水の量
192万^m



県が管理する9つの水循環センターで1日に処理している下水の量です。
50mプール約737杯分です。

数字で見る 埼玉の 流域下水道

下水処理にかかる時間
約**12**時間



水循環センターに下水が流れてきてから、きれいになって河川に放流されるまでの時間です。

焼却炉の温度
850℃以上



下水をきれいにする過程で発生した汚泥(ごみ)を焼却し、灰などにして再利用しています。
高温で焼却すると、温室効果ガスを削減することができます。

処理人口
567万人



市町が管理する公共下水道と併せると約619万人。県人口の約8割の下水を処理しています。

マンホールの数
2,339基



最近ではデザインマンホールにも注目が集まり、様々なマンホールカードが作られています。